

閉 会 挨拶

櫛 本 功（広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長）

大変お疲れのところ最後にお礼の言葉を申し上げさせて頂きたいと思います。私ども広島大学の地域経済研究センターが初めて四国で研究集会をやらせて頂きました。昨日も経済界の方々の面白いシンポジウムをお聞き致しましたし、今日も朝から非常に面白い、それぞれ特色のあるシンクタンクのご報告を頂いたわけでして、やってよかったなというふうに思っております。

特に本日はシンクタンクのご報告ということで、私どもは7年間、毎年やって参りましたが2日目は多少なりとも専門的になりますからだいたい出席者が少ないものです。ところがこちら松山でやらせて頂きました、2日目のシンクタンクの方々のご報告に対しましてたくさんの方々が朝からお見えになりましたし、現在でもたくさん残っていらっしやいます。これはもう私どもは大変感激しているわけです。

昨日も今日もたくさんお見え頂きましたのも、柏谷先生、いよぎん地域経済研究センター、四経連の方々の大変なご協力があったことで、深く感謝申し上げたいと思います。最後まで残られた方が一番重要な方でして、この松山を救う、四国を救う、中国四国を救う、日本を救う方々はまさにこの会場にいらっしゃる方々であると思うわけです。今回は私どもも7年目ですから、第7回でまさにラッキーセブンの研究集会を松山でやらせて頂いたということで、大変ありがたいことと思っております。

私どもは今回松山でやらせて頂きましたが、来年の1月23・24日に広島で第8回の研究集会を開くことに決定しております。1月23日の初日には二人の基調講演者をお呼びすることになっていまして、一人は広島の地元ですが橋口収広島商工会議所の会頭であり広島銀行の相談役です。もう一人は九州大学の矢田俊文教授です。矢田教授は次の全総に関わりまして、四全総の点検の時からずっとご一緒に東京で議論していた仲間です。また札幌・仙台・広島・福岡の学者が集まって議論しています会の同じ仲間です。お二人の基調講演を頂いて、そしてお二人の相互討論会を開きます。司会は私がやりますから、喧嘩をするように仕向けるのが私の役目かと思って居ます。2日目は今回と同じように中国五県のシンクタンクを中心にしまして、それにいよぎん地域経済研究センターさんには例年広島で研究報告をして頂いていますが、民間シンクタンクの方々のご報告を頂きたいと思っています。

問題は来年度以降はどうなるかなということでして、今年度は松山で頂きましたが、毎年よその県に行ってやるという財力はありませんので、こういう会がもしよかったということであれば、四経連さんや柏谷先生・伊予銀さん等々のご相談の結果、こういう会をお持ちになるのかなというふうに期待しております。もしそうになりましたら私

どもの方もこちらに勉強に来たいし、またこちらからも私どもの広島にもお見え頂けるということになれば、文字通りいろんな角度からの連携をやっていくということに繋がっていき、そして世界の中で、アジアの中で、そして日本の中で、四国の存在感がますます大きくなっていくことを期待したいと思います。その際にはぜひとも皆様方のご協力のほどお願い申し上げます。いずれにしてもラッキー7の研究集会、かくも沢山お残り頂いてお聞き頂きまして大成功になりましたことを厚く御礼申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。